

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年3月3日

作成担当部署 小谷村総務課 企画財政係

2. 第三セクター等の概要

法人名 株式会社おたり振興公社

代表者名 代表取締役 幾田 美彦

所在地 長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙 2504 番地 9

設立年月日 平成21年3月6日

資本金 11,850,000 円

【当該地方公共団体の出資額（出資割合）11,850千円（100%）】

業務内容 小谷村所有施設の管理運営

（サンテインおたり・梅池自然園・梅池山荘・ビジターセンター
雨飾荘・雨飾高原キャンプ場の運営管理）

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社おたり振興公社は、中部山岳国立公園と妙高戸隠連山国立公園の2つの国立公園を有する小谷村の中で、温泉保養施設・観光施設・宿泊施設の計6施設を指定管理者として運営している。小谷村の観光や村民の生活を支える重要な存在として、平成21年3月に小谷村からの出資を受けて設立された。

平成27年度（西暦2015年度）より平成30年度までの4年間の売上高は1億9千万円から2億円を維持し、同期間における決算額は黒字を計上してきた。しかし、令和元年度においては、年度内で月別の売上が最大になる10月に台風19号災害の影響を受け、交通インフラ等の機能が停止したことにより観光客が減少し、売上及び収益が激減した。さらに、令和2年からは新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言の発令に準じた長期休業等のため、売上額は例年の7割程度となった。このような要因から、令和2年度決算では債務超過の状況に陥っている。

令和2年度に関しては大きく売上を落としているが、雇用調整助成金をはじめ、新型コロナウイルス感染症経済対策の支援が大きく、収益の減少は最小限に抑えることができている。また、金融機関よりコロナ対策制度融資を4千万円借入し、運転資金としている状況であるが、財政上の小谷村の関与までは至っていない状況である。令和4年2月末現在の経営状況からは、今後における借入金の順当な返済が見込まれている。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組にかかる検討

令和2年度の収益悪化は、令和元年10月の豪雨災害及び令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響による収益の減少が要因である。経営方針としては、現状の経営方針を維持しつつ、今回のような自然災害などにも耐えうる経営を目指す必要がある。今後は収益確保に向けて、新たな視点で積極的な取り組みを検討するよう働きかけていく。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

村では、財政的なリスクの解消と株式会社おたり振興公社の経営健全化、借入金の計画的な返済に向けて、毎年度経営状況の評価検証を実施していく。検証結果については、村と株式会社おたり振興公社で情報を共有し、次年度の事業計画に反映するなど、目標達成を目指した取り組みに努めていく。

(参考)

6. 法人の財務状況

	項 目	金額 (千円)		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸借対象表から	資産総額	37,897	24,913	55,200
	(うち現預金)	23,152	1,958	34,658
	(うち売上債権)	1,564	582	1,402
	(うち棚卸資産)	5,715	5,112	5,944
	負債総額	24,021	24,224	56,205
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	0	0	0
	純資産額	13,875	688	△1,005

	項 目	金額 (千円)		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
損益計算書から	売上高	199,156	203,878	133,034
	売上原価	48,626	65,181	30,624
	売上総利益	150,530	138,697	102,410
	営業利益	△1,577	△20,393	△35,838
	経常利益	△923	△19,671	△34,537
	当期純利益	15	△13,187	△1,694